

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2013年4月30日】

団体名 NPO 法人 青少年の自立を支える山梨の会

自立援助ホーム Lively 朋

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

自立援助ホーム屋根塗り替え工事

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

築17年を経過した格安物件のアパートで子ども達と生活しております。  
木造・スレート葺き2階建て(2DK×4)の屋根の老朽化が著しく、工事が必要となりました。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

自立援助ホーム空白県であった山梨に於いて、その存在の必要性は大であることを認識し、NPO 法人を立ち上げ、格安中古アパート(築17年)で事業を開始しました。  
ホーム開設より2年6ヶ月が経過し、スレート葺き屋根の老朽化が著しいことが判りましたが住居の手入れに費やす資金は全く無く、事業開始後の助成金は子どもが直接的に恩恵を受けられるものに限られているものが多く、今回の事業は該当しませんでした。工事費が59万円と高額であること、しかし、現時点で塗り替えをせぬまま放置する事は今後更なる修理が必要となり、工事費もそれに伴って高額となる為、是非、今回の助成申請で事業の実施をお願いした次第です。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

今回、屋根の塗り替えと同時にアパート外壁の塗り替え工事も必要でしたが、工事費170万円と高額であり、規模の大きな修理を想定した資金の積み立ても無い状況下では不可能でありますので優先的に屋根の工事を申請させていただきました。  
お陰様で屋根は丁寧にしっかりと塗り替えられ、安心・安全な状態となりました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今回の“真如苑「Shinjo プロジェクト」市民活動公募助成”による「自立援助ホーム支援助成」でLively 朋は大変助かりました事をご報告し、先ずは感謝申し上げます。有り難うございます。  
事業を起こす以上は安定した財源の確保は最低限必要であり、修理の為の積み立て等、対策を講ずる必要があったことを反省しました。自己資金ゼロで助成金を探す事の甘さも理解できました。  
子ども達の自立を促すとともに法人としての自立も模索しなければならない時が来ている事を実感しました。  
助成の枠内に山梨県を入れてくださったこと、重ねて感謝申し上げます。有り難うございます。

### 6. 参考資料



着工前

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



着工前

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



着工前

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



完成

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



完成

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



完成

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---